

2020年度 友愛北白石認定こども園事業報告書

1. 友愛北白石認定こども園運営状況

(1) 施設運営の法的根拠

社会福祉事業法第2条第3項による第2種社会福祉事業であり、児童福祉法第35条第4項による児童福祉施設として認可を受けていた。

札幌市長認可（平成23年4月1日札子支第3330号指令）

平成30年4月1日に児童福祉施設「友愛北白石保育園」を廃止し 「幼保連携型認定こども園」として認可を受け、特定教育・保育施設として確認通知を受ける（札子施第2654,2655,2656号）。

(2) 施設の目的

児童福祉法の規定（児童福祉法第1条）により「児童が心身ともに健やかに育成されるよう努め、1号認定は保護者が働いている、いないに関わらず受入れを行い、就学前の子どもに教育・保育を一体的におこなう。又、地域におけるすべての子育て家庭を対象に子育ての不安に対応した相談活動や親子の集いの場の提供などの支援を行うことを目的とする。

(3) 入所園児実績数

利用定員100名（内訳）1号認定10名、2号認定45名、3号認定45名

2020年度 入所園児実績数 (単位:人)

月	0歳児	1～2歳児	3歳児	4歳児以上	計
4月	12	39	22	39	112
5月	12	39	22	39	112
6月	12	39	22	39	112
7月	13	38	22	39	112
8月	14	38	22	39	113
9月	15	38	22	39	114
10月	15	39	22	39	115
11月	15	40	22	39	116
12月	15	40	22	39	116
1月	15	40	22	39	116
2月	15	40	22	39	116
3月	15	40	22	39	116
計	168	470	264	468	1370

入所率 114.2% < 120%

2. 保育の内容

(1) 保育理念・保育目標・保育方針

《保育理念》

子ども一人ひとりの人格を尊重し、丁寧な保育を行う

《保育目標》

- ・よく遊び夢に向かって生きる子ども
- ・豊かな感性を持ち、人や自然・物を大切にする子ども
- ・自分で考え、行動できる子ども

《保育方針》

- ・人権に配慮し、一人ひとりの人格を尊重した保育を行う
- ・子どもの発達に応じた人、物、場等の環境を構成し、工夫して保育を行う
- ・専門性や保育園の特性を生かし、保護者、地域への子育て支援を行う

(2) 時間外保育促進事業、一時預かり事業（1号認定）

時間外保育・一時預かり事業（1号認定）は、保護者の就労形態の多様化や通勤時間の増加等、様々な理由により保育・教育時間を超えて保育が必要となった児童に対して実施する。

・保育・教育時間

保育・教育必要量の区分	対象時間
保育標準時間	7時から18時までの範囲内
保育短時間	8時から16時までの範囲内
1号認定	9時から13時までの範囲内

・時間外保育、一時預かり（1号認定）

保育・教育必要量の区分	対象時間
保育標準時間	18時から19時までの範囲内
保育短時間	(1) 7時から8時までの範囲内 (2) 16時から19時までの範囲内
1号認定	(1) 7時から9時までの範囲内 (2) 13時から19時までの範囲内

2020年度 時間外利用児実績数 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
標準時間実績数	67	58	124	136	127	129	138	156	160	125	124	139	1483
短時間実績数	51	51	97	75	82	75	81	67	42	43	47	82	793
合計	118	109	221	211	209	204	219	223	202	168	171	221	2276

2020年度 一時預かり保育事業（1号認定）利用時実績数 (単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1号児数	8	8	8	9	9	9	9	8	8	8	8	8	100
平日利用数	134	121	160	143	62	167	186	135	141	52	130	165	1596
土曜利用数	8	18	14	15	9	22	21	10	7	5	10	8	147
長期休業	0	0	0	41	105	0	0	0	8	88	0	0	242

(3) その他保育

・障がい児保育

令和2年度は障がい認定を受けている子はいなかったが、児童デイサービスに通う子や気になる子の対応を保護者や専門医療機関との連携をとりながら保育、支援してきた。その子自身をよく理解するようにし、行動をケース会議で共有しながらかわりを進めてきた。

2020年度 障がい児保育実績数 (単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
園児数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

・一時保育 (一般型幼稚園タイプ)

2歳児から就学前迄の受け入れを行う。断続的・短期間就労等の就労形態の多様化に伴う一時的な非定型的保育、保護者の傷病、看護等による緊急時保育、さらには育児に伴う心理的・肉体的負担を解消する私的理由等、決定された一時保育を行う。令和2年度は、問い合わせはあったが、コロナ感染拡大を考慮して、受け入れ人数を考えて行った。

2020年度 一時保育(一般型幼稚園タイプ)実績数 (単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
非定型	0	0	0	6	6	10	0	0	0	0	0	0	22
緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
私的	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	6	6	10	0	0	0	0	0	0	22

(4) 保育の内容

年 齢 区 分	領 域
6ヶ月未満児	生活 (食事・排泄・睡眠・保健衛生)・遊び
6ヶ月～1歳3ヶ月未満児	生活・遊び
1歳3ヶ月～2歳未満児	生活・遊び
2 歳 児	生活・遊び・人間関係
3 歳 児 以 上	健康・人間関係・環境・言葉・表現

<乳児>

全体的な計画をもとに年間指導計画、毎月の個人指導計画を作成し、生活と遊びの項目に分けて記録している。一人ひとりの発達に応じた保育を丁寧に行い、日々保護者と連絡帳を交換し合い、家庭との連携を密にし保育を行っている。

<2歳児>

全体的な計画をもとに年間指導計画、月案、週案を作成し、個人記録は月ごとに一人ひとりの生活や遊びを記入している。基本的生活習慣の自立を援助し、一人ひとりの発達に応じた保育を行っている。必要に応じ随時連絡帳を交換し合い、連携を密に保育を行っている。

<幼児>

全体的な計画をもとに、年齢別・縦割りクラスの年間指導計画、月案、週案を作成し、異年齢保育を生活や遊びの基本とし、異年齢、年齢別それぞれの保育・教育的課題に取り組み、記録をしている。又、前期、後期(4～9月、10～3月)に分けた個人記録も記入している。4・5歳児の体育指導を幼児担任を中心に行い記録している。

(5) 行事实施報告

月	行 事	月	行 事
4月	6日 身体測定 16日 全園児内科検診 延期 23日 避難訓練	10月	1日 秋の遠足 5日 身体測定 8日 防災訓練 15日 焼芋会 全園児内科検診 中止
5月	1日 こどもの日お楽しみ会 (会は中止したが各クラスで楽しむ) 11日 身体測定 21日 避難訓練	11月	2日 身体測定 7日 第10回生活発表会 17日 交通安全教室 25日 避難訓練
6月	1日 身体測定 2日 バス遠足(円山動物園) 中止 9日 全園児歯科検診 延期 29日 避難訓練 30日 交通安全教室	12月	3日 もちつき会 7日 身体測定 16日 避難訓練 24日 クリスマス会
7月	1日 ぶちうんどうかい(保護者観覧無し) 6日 身体測定 17日 夏の思い出会(年長) 22日 全園児歯科検診 29日 避難訓練 30日 全園児内科検診	1月	4日 身体測定 7日 新年お楽しみ会 28日 避難訓練
8月	3日 身体測定 7日 七夕夏祭り 21日 避難訓練	2月	1日 身体測定 3日 節分 9日 雪中ゲーム大会 24日 避難訓練
9月	7日 身体測定 12日 らいおん組親子遠足 18日 敬老の日 25日 避難訓練 30日 人形劇えりっこ	3月	1日 身体測定 3日 ひなまつり会 11日 お別れ会 13日 第10回卒園式 16日 避難訓練 17日 進級式 27日 新一年生遠足

- ・ 月4回(4月～9月) 絵画造形教室(年長・年中組)
- ・ 年5回(4月～11月) リトミック(年長・年中組)
- ・ 年2回(7月～10月) 異文化交流(年長組)
- ・ 年5回(7月～11月) サッカー教室(年長・年中組)
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外部講師による絵画造形教室、リトミック、異文化交流、サッカー教室は予定していた回数を変更しました。
- ・ クラス懇談会・お茶会は、中止とし、保護者の希望により個人懇談を実施しました。
- ・ 実習生～北海道文教大学1年(8月、2月)
拓殖大学北海道短期大学2年(7月)
札幌大谷大学短期大学部1年(11月)

3. 友愛北白石認定こども園の特徴

(ア)異年齢児(3・4・5歳児)のクラス編成

子ども同士で育ち合う関係を大切に、異年齢で日常生活を共に過ごすことを生活や遊びの基盤としている。思いやり、いたわり、助け合い、憧れや尊敬の気持ちを育み、人と関わる力の基礎を培う。

各年齢の発達段階を考慮した保育環境を工夫し、自ら環境に働きかけ成長できることをねらいとしている。

(イ)年齢別活動

0歳児、1歳児、2歳児クラスは毎日の保育を年齢別としている。

3～5歳児は各年齢の活動を取り入れ、年齢にふさわしい経験を積み重ね、心身の調和のとれた発達をうながしている。

(ウ)規則正しい生活リズム

毎日の生活が規則正しく繰り返される日課の経験は、子どもの生活リズムを安定させている。子ども自身が生活に見通しを持ち、自発的に行動し、意欲的に活動することが出来る様、環境を整えている。

(エ)一人ひとりを大切にする保育

子どもにとって「第二の家庭」となるよう、保育環境に配慮し、一人ひとりの人格を尊重した丁寧な保育を重視している。

0・1・2歳児は一人ひとりの生活リズムを把握し、丁寧に関わるようにし、大人との信頼関係が育まれることを何より大切にしている。食事や午睡の場所は、いつも同じ所に決まっていることで安心感や見通しを持った行動を育てている。家庭的で温かい雰囲気づくりを常に心掛けている。

(オ)おもちゃ・絵本・わらべうたのある環境

子どもが自分で好きな遊びが出来るように、おもちゃはいつでも手に届く決まった所に置いて落ち着いて遊べる室内環境を整えている。乳幼児の為に工夫された、世界の優れたおもちゃを数多く用意し、構成遊びやルールのある遊び、ごっこ遊び等を通して、自己を十分に発揮できるよう保育教諭が遊びを促し、環境を整えている。また、毎日絵本の読み聞かせを行い、美しい日本語や物語の世界に触れ、発達段階や季節、行事に合わせた様々な絵本を経験しファンタジーの世界を出入りする楽しさを友達と共有している。

わらべうたは、乳児から1対1で発達を援助したり、人との関わりの楽しさ、喜びを経験し良い人間関係を築くことを大切にしている。

(カ)自然と触れあう保育

戸外遊びを毎日の日課に取り入れ、自然の中で五感を十分に使い、健康な身体

づくりをしている。幼児は雨具を着て小雨の散歩を楽しみながら自然観察も行っている。春夏には野菜を育て、秋の収穫を楽しみ、食育にもつなげている。冬には園庭に雪山を作り、そり遊びや雪像作りなど、北国の冬を楽しんでいる。四季を問わず、様々な近隣の公園で自然探索や大型遊具等で戸外遊びを存分に楽しんでいる。

(キ)体育指導（4、5歳児）

体育指導担当保育教諭が体力づくりに重点を置き、鉄棒、跳び箱、マット等の器械運動、ドッチボール等の遊びを行っている。サッカー教室はデノバサッカー教室の指導員のもと、身体能力強化や集団で遊ぶゲームの楽しさ、ルールを伝えている。

(ク)絵画造形・リトミック（4、5歳児）、異文化交流（5歳児）

今年度はコロナ感染拡大防止のため回数を減らしたが、外部の専門の講師より絵画造形やリトミックの指導を受け、表現遊びを行っている。5歳児は肌の色の違う外国の方と交流を通して異国の文化に触れる機会を作り、簡単な英語の歌や単語を、楽しみながら学び経験を広げている。

※年齢毎に絵本や遊びへの集中力も高まり、様々な取組に自発的に参加する子どもが増えた。しかし生活経験の違いもあり、集中力、持久力、言語理解力、表現力に差が感じられる。更に子どもの心が動き意欲的に活動できるように、適切な環境を整え、小学校への接続も意識した養護的、教育的な大人の働きかけを更に工夫していく。

4. デイリープログラム

0・1・2歳児	時 間	3・4・5歳児
順次登園・視診	7:00	順次登園・視診
遊び		遊び
午前のおやつ	9:00	
遊び（戸外・室内）	10:00	遊び（戸外・室内）
離乳食	10:30	
食事（1歳児）	11:00	
食事（2歳児）	11:30	絵本
食後順次午睡	12:30	食事 食後順次午睡
目覚め・排泄・おやつ	14:30	目覚め・排泄・おやつ
絵本・わらべうた		絵本・わらべうた
遊び（室内・戸外）	15:30	遊び（室内・戸外）
順次降園		順次降園
閉園	19:00	閉園

5. 給 食

(ア)給食の意義

給食は、食育という保育の重要な一部門であり、幼児の心身の成長発達と健康の保持増進に不可欠な食物を供給するものである。

又、給食を通して望ましい生活習慣を身に付け、年齢相応の栄養や衛生の知識も身に付ける事をねらいとしている。給食を通して、乳幼児の家庭や地域社会の望ましい食生活の構築にも貢献できるよう工夫している。

(イ)給食の区分

給食は離乳食、1~2歳児食、3~5歳児食、食物アレルギー児食に分類して、年齢に適した調理を行っている。

(ウ)給食形態

全園児、「ご飯」「パン」「麺」を含む完全給食を実施している。

札幌市の献立表を基本として栄養士が栄養面を考え、旬を取り入れたバランス良い献立作りを行っている。和食を中心に、行事食も行事にちなんだメニューを工夫し提供している。午後のおやつは手作りを心掛け、長時間保育を考慮し、腹もちの良いものを基本としている。

食育指導計画を作成し、保育計画に位置付けている。

栄養士会議が定期的に関われ、系列園との経験交流をし、衛生管理やアレルギー対策マニュアルに基づき給食提供が行われている。

6. 避難訓練及び消火訓練

消防法に則り、防火管理者（園長）の指揮の下、自衛消防隊を組織し、乳幼児の生命を守り、安全対策を行った。

各種災害等の避難訓練及び消火訓練を行うことにより、各々の状況で臨機応変に判断し、避難誘導等の適切な対応ができるようになった。

2020年度 避難（消火）訓練実施一覧

実施日	訓練内容	開始時間	(出火場所)	避難場所	参加人数	
					園児	職員
4月23日	火災	10時15分	給食室	各保育室	67	24
5月21日	地震	10時15分	給食室	各保育室	72	28
6月29日	水害	15時15分	給湯室	ホール	106	28
7月29日	竜巻	15時00分	職員玄関	玄関・ホール	96	27
8月21日	不審者	予告なし (9:30)	玄関	各保育室	100	20

9月25日	地震	予告なし (9:40)	給食室	北郷公園	102	27
10月8日	防災訓練	10時15分	給食室	ホール	106	27
自衛消防訓練						
11月25日	地震	予告なし (15:00)	給食室	園庭	107	22
12月16日	火災	予告なし (15:00)	近所の家	園庭	103	22
1月28日	地震	予告なし (9:10)	給食室	園庭	109	25
2月24日	不審者	予告なし (9:30)	正面玄関	各保育室	103	24
3月16日	地震	予告なし (15:00)	給食室	園庭	108	24

※ 消火訓練は、毎回行う

7. 職員研修・会議等

(ア)職員の資質と職務能力を高め、乳幼児保育の向上を図り、自己研鑽に努めるよう次の研修に参加した。

2020年度 参加研修一覧

研修日	研修名	主催	人数
4月14日 6月9日	絵本スキルアップセミナー	札幌第一こどものとも社	12
8月18日 10月13日	「こどもの生活と絵本」		
4月21日 6月11日	伝承のわらべ唄講座	札幌第一こどものとも社	8
8月20日 10月15日	「初めて学ぶ伝承のわらべ唄」		
4月28日 6月23日	保育実践セミナー	札幌第一こどものとも社	12
8月26日 10月20日	「遊びを紐解く」		
4月30日 6月25日	基本の「き」	札幌第一こどものとも社	12
8月27日 10月22日	「遊びの基本・おもちゃの役割」		
7月1日 9月2日	伝承のわらべ唄講座	札幌第一こどものとも社	12
11月18日 1月20日	「もっと知りたい 伝承のわらべ唄」		
7月21日 9月15日	保育実践セミナー	札幌第一こどものとも社	12
9月29日 11月17日	「乳児の気持ちを知るヒント」		
8月28日	乳幼児のための食育研修	北海道社会福祉協議会	1
9月3日	ファシリテーション技術向上研修	北海道社会福祉協議会	1
9月8日	私保連研修会「乳幼児の身体の見方、接し方」	札幌市私立保育園連盟	2
10月2日	私保連研修会「フィールドワーク研修」	札幌市私立保育園連盟	1

10月8日～9日	乳児保育担当保育士等研修	北海道社会福祉協議会	1
10月12日	札幌市障がい児保育研修	札幌市	1
10月16日	札幌市私保連保育研究大会	札幌市私立保育園連盟	5
10月29日	白石区合同研修会	私保連白石区研修部	2
11月11日	第2回札幌市保育所職員研修会「小学校との接続について」	札幌市私立保育園連盟	2
11月19日	私保連研修会「子どもの健やかな成長を願って」	札幌市私立保育園連盟	1
11月26日	私保連研修会「保育士のための保護者支援」	札幌市私立保育園連盟	1
12月15日	特別な教育的支援を必要とする幼児の指導	札幌市幼児教育センター	1
12月21日	私保連研修会「就学前の発達と絵本」	札幌市私立保育園連盟	1
1月21日	白石区職員研修会	私保連白石区研修部	11
2月15日	札幌市保育所等給食・食育関係者食育研修会	札幌市子ども未来局	1

法人合同研修会

開催日	令和3年2月6日（土）
会場	各施設においてオンラインで実施
時間	午後4時30分～6時00分（研修発表、講演会）
研修内容	<p>園内研修発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まきば認定こども園「てんかん発作の対応と理解」 ・札幌西友愛認定こども園「リズムジャンプによる子どもの身体づくり」 ・小規模事業所A型カシオペア「保育の基盤づくり～保育マニュアルの作成に向けて」 <p>※園内研修資料提出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友愛認定こども保育園「非認知能力を育てる環境づくり」 ・友愛北白石認定こども園「様々な遊びを知る～4つのプロジェクト」 ・飛翔認定こども園「心をついに！～みんなで考え連携し、行動する職員集団を目指して～」 ・平岸友愛認定こども園、「子どもが楽しめる環境づくり」 ・光星友愛認定こども園「クレドの実践～最高の保育を提供するために～」 ・小規模事業所A型ペガサス「子どもの発達を理解する～年間指導計画に基づいて～」 ・小規模事業所A型オリオン「子どもが遊ぶ園周辺の環境について」

(2) 会議の計画と実施

会議内容	日時	参加者
保育会議	毎月1回	園長・主幹・保育教諭
職員会議	毎月1回	園長・主幹・保育教諭・栄養士
リーダー会議	毎月1回	園長・主幹・各クラスリーダー
クラス会議	各クラス毎月1回	各クラス保育教諭・主幹
研修会議	毎月1回	園長・主幹・保育教諭

8. 苦情解決への取り組み

2020年度は札幌市や第三者委員への苦情の申し出はなかった。しかし、保護者の方から保育教諭の言動へのご指摘を頂いた事は、職員会議で周知し、保護者の方に謝罪と改善策を話して理解を得ている。又、令和3年2月に利用者アンケートも実施し、ご信頼頂いている様子を知る事ができたと同時に貴重なご要望も頂いたので、今後も信頼関係を大切にし、より一層丁寧な保育を行っていく事を職員と確認しあった。

9. 子育て支援の取り組み

前年度、子育て支援の「すくすくひろば」が定着していたが、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により園開放はできなかった。

見学者には、時期を見ながら園の中を案内するようにし、常にコロナ感染拡大に配慮しながら短時間での説明を心掛けた。

地域の方々との交流は中止となってしまったため、社会が落ち着きを取り戻した際は、地域の子育て家庭を支援し積極的に取り組んで行くようにする。